

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日： 24年 11月 9日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) ユウゲンガイシャ ツチエジュウキ 有限会社 土江重機
	(団体名) ※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。
応募 担当者 連絡先	団体名： 有限会社 土江重機
	〒691-0011 所在地： 島根県出雲市国富町838-2
	部署名：
	役職名： 代表取締役
	氏名： 土江光二
	TEL： 0853-63-3361 FAX： 0853-63-3365
	E-Mail： tsuchie@eco8.co.jp
ホームページ	http://www.eco8.co.jp/
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>弊社は、主に重機工事、一般土木等の建設業と一般貨物運送業を営んでいます。</p> <p>工事受注先は、地元の大手建設業者様（国土交通省発注工事を手掛ける会社）や、県、市などの発注工事等を入札で受注しています。</p> <p>また、公共工事での温暖化防止対策の啓発活動の一環で、自社開発のエンジン出力制限カバー（ECO-8）の製造、販売にも注力している他、地域貢献として、障害者の雇用拡大の啓発活動を行っている。</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

公共工事における現場単位で行う地元循環型（eco-8）カーボンオフセットプロジェクト

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

下請け業者である弊社は、CO₂を排出しないクリーンな工事現場を目指し受注後、元請業者と共にCO₂排出量の見積もりとCO₂削減計画を作成し工事に着手、実際に工事で建設機械が排出した3①-1に記載した算定範囲のうち98tのCO₂をカーボン・オフセットの対象とした。受注現場には様々な工事内容と施工数量がある為、現場単位でのCO₂削減計画と実施が必要である。なお、CO₂の算定は、国土交通省の積算基準を引用し算出した。

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください

2011年11月15日～2011年12月22日 現場名 中海大井整備工事

2011年11月1日～2012年5月7日 現場名 宍道湖鹿園寺植生基盤工事

2011年12月10日～2012年11月（現在継続中）仁摩温泉津道路小浜地区改良第2工事

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。
自社 HP <http://www.eco8.co.jp/>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

中海大井整備工事での排出量	11.2 t
宍道湖鹿園寺植生基盤工事の排出量	35.9 t
仁摩温泉津道路小浜地区改良第2工事（現在継続中）	396.2 t

排出量合計 443.3t

国土交通省の工事積算基準より工種ごとの歩掛を用いて燃料消費量を算出した。

現在の総量 443.3 t -CO2/L

②-2 排出量の算定に利用したデータ種類

軽油使用料

(自己活動オフセット支援の場合)

①-3 利用者に帰属する排出対象活動

【例】利用者の1日の日常生活に伴う排出量 ○○kg

【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後1年分にあたる、○トン。商品販売時に顧客に提示。

①-4 利用者に対する排出量の提示方法

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ

■ その他（ 自社開発のエンジン出力制限カバー（eco-8）を用いてパワーショベルを中心に建機の効率化を図ること
で燃料の削減を行った。 ）

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。

国内クレジット（73%）島根 CO2 吸収・固定量認証制度（27%）

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

- ① (島根県産) アルファー食品株式会社 削減事業は、ボイラーの更新、空調設備の更新、コンプレッサーのインバーター制御の導入、照明設備のLED化、変圧器の更新と(岩手県大船渡産)株式会社アマタケさんのプロイラー農場におけるボイラーの更新(重油→木質バイオマス)による温室効果ガス削減事業
排出権識別番号: 00729-90~00729-114/00354-241~00354-255
- ② しまね縁結びの森づくりプロジェクト

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

(中海大井) 平成23年12月22日、無効化(宍道湖植生) 24年5月14日、平成24年6月30日、無効化
(仁摩温泉津道路) 平成24年8月31日、無効化

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真(JPEG等)や概要図(PDF等)は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体でA4用紙4ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL: http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ① CO2 排出削減努力の項目(内容)について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ② CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

1、エンジン出力制限カバー(eco-8)の装着

建設現場で稼働率70%、CO2 排出寄与率50%と建設現場に必要な不可欠なパワーショベルに自社開発であるエンジン出力制限カバー(eco-8)を用いて燃料を20%削減している。このカバーは、従来のパワーショベルに取り付けることが可能で、簡単に確実に燃料削減が出来るカバーです。今までのパワーショベルでは、出力全開での作業が多かった為、今すぐできる建設現場での環境対策としてステークホルダーに広く活用促進と有効性をPRしている。

また、工事現場で排出されるCO2の多さは現場規模によって数量は変わるが、1現場単位でCO2 排出見積もりを作り元請業者と下請け業者で削減計画を考え、工事全体のCO2 排出量を抑制する事で工事関係者への環境意識の向上へ繋げている※写真1

2、ダンプトラックのエコドライブ講習

土砂運搬では、大型ダンプを活用する機会が多い建設現場では、運転手のエコへの意識改善が必要になっている為、エコモ財団主催のエコドライブ講習を実施し、運転方法の改善や排出ガスが与える地球環境への影響を学習することで6%~7%の燃料の削減をしている ※写真2

3、現場の啓発活動

工事看板にCO2 排出量と削減目標を掲示することで、地域の住民と一丸になってCO2の抑制に取り組める。※写真3

4、エコアクション21認証取得

エコアクション21の認証取得により、マネジメントシステムの運営、向上を図り会社全体でのCO2 削減努力と環境啓発活動を行っている。※写真4

5、環境社会検定試験(eco検定)の取得

年2回、各地で開催されるeco検定を受験を全社員に挑戦させている。この試験を受験することで今侵されている地球環境や生物多様性の大切さなど多くを学びまた、広く環境保全の大切さをつたえることが出来る。※写真5

2. カーボン・オフセットの内容

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ③ 自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

- 1、公共工事の現場単位で行うカーボン・オフセットを行っている。
工事現場を受注した際に CO2 削減見積りを製作し、元請業者と共に現場での CO2 排出削減計画と施工計画の再検討を行い実際に工事を実行、エンジン出力制限カバー（eco-8）やエコドライブ、エコ講習等の削減努力を行ったうえで、工事で使用した燃料の消費量から CO2 排出量の確認、削減しきれなかった CO2 排出量に対してカーボン・オフセットを行う。
公共工事依存率の高い各都道府県で、現場単位のカーボン・オフセットを行う事で環境改善に貢献する他、環境産業の活性化に繋がります。※写真 6
- 2、弊社が活用してるクレジットは、島根県が独自に認証する制度のしまね CO2 吸収・固定量認証制度を使い、地元貢献型カーボン・オフセットを行っている。このクレジットを使う事で、森林整備の促進と工事評価のアップに繋がることから、工事現場で行うオフセットの優位性を PR すれば地元から全国に波及していくと考え、今後もこの取り組みを継続して行きたい。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献

島根県の県土面積に占める森林面積は 78%で、全国で 3 位の森林県という事もあり森林整備が齎す環境への影響は大きく、河川に流れる水質の浄化が湖沼環境の保全に繋がって行きます。島根県では、宍道湖という汽水湖があり、宍道湖漁業組合の皆様はこの宍道湖の水質悪化を懸念し、組合独自活動で水質の浄化を図り美しい宍道湖を次世代に繋げる努力をされています。今回のカーボン・オフセットは、島根県の森林整備から創出されたクレジットを活用している事もあり、宍道湖の環境のみならず、島根県全体の環境保全という観点から大きく貢献できました。※写真 7
- ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第 1 次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ② 々々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

1、島根地球温暖化防止活動大賞の受賞

弊社の取り組みがCO2排出の抑制に大きく貢献したとして、平成24年度島根地球温暖化防止活動大賞を受賞致しました。また、弊社が行っている工事現場単位での温暖化防止活動が広くPR出来たことで、地域の温暖化防止活動の活性化に繋がっている。
※写真8

2、メディア掲載

工事現場単位でのカーボン・オフセットが島根ハツという事もあって、地元新聞他、経済紙等に掲載され地域住民の方や建設業界の多くの関係者に環境への波及効果が期待できる。

3、工事現場での啓発活動

工事現場で活用するパワーショベルには、eco-8 プロジェクトストップ温暖化と明記し、公共工事での啓発活動に努めている。
※写真9

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

今回のカーボン・オフセットは、工事現場単位で CO2 排出量を算出しカーボン・オフセットを行うのがポイント、企業全体では、見えにくい CO2 排出量を現場単位で算出し見える化することで、末端の作業員にまでカーボン・オフセットの趣旨と環境保全の大切さや、地域に根差した公共工事として理解得られることで現場が一つになり、カーボン・ニュートラルを目標に活動している。また、島根県産クレジットは、1 kg-CO2 につき 1 ポイント（100円）の緑の通貨（島根県独自の通貨）が付与され、加盟店で使える仕組みになっている事で地域振興にもつながるカーボン・オフセットになります。環境企業として今後 CO2 排出量の多い公共工事で、持続可能な環境対策と、地域の皆様と共に行う低炭素社会の構築めざし、一歩先を見ながらのアクションをしていきたいと考えています。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp